

社会資本総合整備計画 中間評価
(愛知県津島市)

平成30年6月

社会資本総合整備計画 中間評価

*赤色は実績値を示す。

計画の名称	安心・安全に暮らしている災害に強いまちづくり			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成27年度～平成31年度(5年間)	交付対象	愛知県津島市		
計画の目標					

本市は、名古屋市の西約16キロメートルに位置し、市の大部分は海抜ゼロメートル地帯が広がっている。こうした地域特性から軟弱地盤であり液状化による被害が予測される。平成26年5月に愛知県から発表がされた新たな南海トラフ大地震における被害予測では、本市は津波による被害は少ないものの2級河川日光川の堤防が液状化により被災した場合、ほぼ全域が浸水し、建物の倒壊による死者数より多くなる結果となった。本市の防災対策として、官民の建築物等の耐震化の促進をはじめ、給水施設の強化、橋梁の再整備といったハード事業は元より、市民の防災への意識の高揚や自主防災会や消防団などの連携強化といったソフト施策を推進しているところである。本計画では、大規模地震対策として耐震性貯水槽の整備、避難場所となる公園の整備を進め、災害に強いまちづくりを推進するものである。また、小学校から1kmにある道路を整備することにより、住民が災害時に耐震性貯水槽のある小学校に安全な避難路で避難することができ、災害に強いまちづくりを推進するものである。

計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 配水場から遠方の避難所では、給水経路が断たれ、被災後応急給水ができなくなるのが想定されることから、耐震性貯水槽の整備によりより多くの市民への飲料水の供給を図る。 神守地区において、一時避難所不足の解消及び収容能力を強化するために、一時避難所となっている神守小の隣接地に公園の整備を行う。 小学校から1km以内の道路と水路が平行している危険箇所について、水路に側溝等を設置することで歩道として整備を行う。 				
----------------	---	--	--	--	--

定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考	
				当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)		
・耐震性貯水槽の整備による飲料水の供給可能人口の増加数(40m3/基÷(30ℓ/人・日)×3日分)(3基整備後13,200人増)				18,000人	22,400人 18,000人	31,200人		
・発災後の初期段階で必要な避難場所の収容人数を増加させる。(第1:1,000人増、第2:700人増、計1,700人増)				3,900人	3,900人 3,900人	5,600人		
・第4次津島市総合計画策定時の市民アンケート調査における設問のうち「安全な道路交通環境」の満足度向上				20.30%	—	30.00%		

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	698.1百万円 147.2百万円	A	661.4百万円 140.6百万円	B	—	C	36.7百万円 6.6百万円	D	—	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	(8.5%) 4.6%
-------	-----------------	----------------------	---	----------------------	---	---	---	-------------------	---	---	---------------------------	----------------

中間評価												
中間評価の実施体制・実施時期												
中間評価の実施体制										中間評価の実施時期		
津島市建設産業部都市計画課										平成30年3月 公表の方法 市ホームページにて公表		

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A1 都市防災・公園事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)		費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
									H27	H28	H29	H30	H31	計画	実施			
1-A-1	都市防災	一般	津島市	直接	津島市	都市防災総合推進事業(地区公共施設整備)	耐震性貯水槽 3箇所	津島市						271.0	76.9		—	
1-A-2	都市防災	一般	津島市	直接	津島市	都市防災総合推進事業(地区公共施設整備)	公園整備予定(神守第1)0.25ha かまどベンチ、防災備蓄倉庫等設置	津島市						176.4	6.2		—	
1-A-3	都市防災	一般	津島市	直接	津島市	都市防災総合推進事業(地区公共施設整備)	公園整備予定(神守第2)0.18ha かまどベンチ、防災備蓄倉庫等設置	津島市						113.0	57.5		—	
1-A-4	都市防災	一般	津島市	直接	津島市	都市防災総合推進事業(地区公共施設整備)	避難路整備工事	津島市						101.0	0.0		—	
小計(都市防災・公園事業)												661.4	140.6		—			

C 効果促進事業																	
C1 都市防災・公園事業効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)		備考	
									H27	H28	H29	H30	H31	計画	実施		
1-C-1	(活動支援) 都市防災	一般	津島市	直接	津島市	市民防災意識向上事業	ハザードマップ作成及び配布	津島市						6.9	6.6		
1-C-2	(施設整備) 都市防災	一般	津島市	直接	津島市	器具購入事業	応急給水用具整備	津島市						28.8	0.0		
1-C-3	(活動支援) 都市防災	一般	津島市	間接	津島市	学童交通安全啓発事業	交通安全教室及びパンフレット配布	津島市						1.0	0.0		
小計												36.7	6.6				

番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考
1-C-1	1-A-1、1-A-2、1-A-3を整備することにより、災害時における住民の適切な対応・行動を促し、災害被害の軽減を図る。											
1-C-2	1-A-1と一体的に実施することにより、被災後の耐震性貯水槽からの応急給水を可能とし、その利便性の向上を図る。											
1-C-3	1-A-1、1-A-4と一体的に実施することにより、災害時においても安全な避難路を把握することができる。											

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

社会資本総合整備計画 中間評価

* 赤色は実績値を示す。

計画の名称	安心・安全に暮らしていける災害に強いまちづくり			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	愛知県津島市		
計画の目標	<p>本市は、名古屋市の西約16キロメートルに位置し、市の大部分は海拔ゼロメートル地帯が広がっている。こうした地域特性から軟弱地盤であり液状化による被害が予測される。平成26年5月に愛知県から発表がされた新たな南海トラフ大地震における被害予測では、本市は津波による被害は少ないものの2級河川日光川の堤防が液状化により被災した場合、ほぼ全域が浸水し、建物の倒壊による死者数より多くなる結果となった。本市の防災対策として、官民の建築物等の耐震化の促進をはじめ、給水施設の強化、橋梁の再整備といったハード事業は元より、市民の防災への意識の高揚や自主防災会や消防団などの連携強化といったソフト施策を推進しているところである。本計画では、大規模地震対策として耐震性貯水槽の整備、避難場所となる公園の整備を進め、災害に強いまちづくりを推進するものである。また、小学校から1kmにある道路を整備することにより、住民が災害時に耐震性貯水槽のある小学校に安全な避難路で避難することができ、災害に強いまちづくりを推進するものである。</p>				

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	3.5	10.0	80.6		
計画別流用 増△減額 (b)	0.0	0.0	0.0		
交付額 (c=a+b)	3.5	10.0	80.6		
前年度からの繰越額 (d)	0.0	0.0	0.0		
支払済額 (e)	3.5	10.0	54.6		
翌年度繰越額 (f)	0.0	0.0	26.0		
うち未契約繰越額 (g)	0.0	0.0	26.0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0	0.0	0.0		
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

2. 事業効果の発言状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		耐震性貯水槽に関しては、若干進捗が遅れているが、平成31年度の整備計画終了時には完了予定。 公園整備に関しては、用地交渉が順調に進んでおり、平成30年度から整備工事に着手するところである。			
II 定量的指標の達成状況	指標①耐震性貯水槽の整備による飲料水の供給可能人口の増加数	中間目標値	22,400人	目標値と実績値に差が出た要因	国からの内示が低かったこと及び学校側と工事用車両の出入りの調整に時間を要したため遅れているが、計画の完了年度である平成31年度までには事業が完了する予定である。
		中間実績値	18,000人		
	指標②発災後の初期段階で必要な避難場所の収容人数	中間目標値	3,900人	目標値と実績値に差が出た要因	目標どおり事業が進んでいる。
		中間実績値	3,900人		
	指標③第4次津島市総合計画策定時の市民アンケート調査における設問のうち「安全な道路交通環境」の満足度	中間目標値	-	目標値と実績値に差が出た要因	次回の津島市総合計画を策定する上でアンケート調査を実施する。
		中間実績値	-		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)					
3. 特記事項(今後の方針等)					
<ul style="list-style-type: none"> ・国からの内示が低かったこと及び学校側との調整に時間を要したため事業が遅れているが、市の中で予算確保に努めるとともに、災害時における生命維持に必要な水(3ℓ/人・日)を確保することを優先し、指標①耐震性貯水槽の整備を優先的に進める。 ・公園整備に関しては、地元住民の意向確認を図りつつ整備を進めていく。 					

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

